

重大な副作用DB

大分類

医療機関システム

調剤薬局システム

中分類

服薬指導支援

概要

医療用医薬品の添付文書に記載されている重大な副作用と、その初期症状を登録したデータベース

特徴

重篤な副作用の
早期発見・対処に
有用

重大な副作用の
個々の初期症状を
コード化

症状から重大な副作用の
逆引き検索が可能

重大な副作用DB

ご利用場面

- 副作用のモニタリングに、継続した服薬フォローアップに
- 患者さんの症状から疑われる重大な副作用を検索
- 薬剤情報提供書やおくすり手帳に記載して注意喚起

重大な副作用DB

重大な副作用の初期症状データ例

医薬品名: メバロチン錠5

過敏症状	<input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 発疹 <input type="checkbox"/> 顔・唇・舌・口・のどなどが腫れる <input type="checkbox"/> 息苦しい 等
肝障害	<input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 体がだるい <input type="checkbox"/> 食欲がない <input type="checkbox"/> 皮膚や白目が黄色い 等
横紋筋融解症	<input type="checkbox"/> 手足の脱力感 <input type="checkbox"/> 筋肉痛 <input type="checkbox"/> 赤ワイン色の尿が出る 等

⋮

(以下略)

- 副作用モニタリング時の参照情報としての活用
- 初期症状の情報提供による患者さんへの注意喚起
- 個々の初期症状はコード化されており、表示・検索・記録の際に取り扱いが容易

重大な副作用DB

症状から重大な副作用を逆引きする例

アリセプトD錠 5 mgを服用している
患者さんで以下の症状が発現

高熱

筋肉がこわばる

物が飲み込みにくい

意識がもうろうとする

悪性症候群
(Syndrome malin)